

# 男女共同参画社会づくりのための意識調査 (抜粋)

## ●アンケート実施期間

平成26年6月3日～6月20日

## ●アンケート対象者

市内20代～60代の各世代男女100名ずつ計1000名

## 回収率

	H14	H21	H26
全体	448	385	333

- ・全体の回収率は333通
- ・回収率は年々減少傾向にあります。

## 男女別回収率

	H14	H21	H26
1.男	35.8	31.6	26.8
2.女	53.8	45.4	39.4

- ・男女各500人当たりの回収率
- ・男女とも減少傾向にあります。
- ・男性と比較して女性の回収率が高いです。

## 年代別回収割合

	H14	H21	H26
1.20代	15.0	13.8	12.3
2.30代	18.3	20.0	20.2
3.40代	20.1	17.7	16.3
4.50代	24.1	20.6	19.6
5.60代以上	22.8	27.6	31.6

- ・全体を100とした場合の各年代の構成割合
- ・60代以上の割合が高くなっています。
- ・子育て世代である30代の割合が上昇しています。

## 問1 「男らしく」「女らしく」ということについてどう思うか。

	H14	H21	H26
1.必要である	62.4	55.7	57.9
2.必要でない	10.4	13.9	9.8
3.どちらともいえない	25.9	29.1	29.9
4.わからない	1.4	1.3	2.4

## 問2 「男は仕事、女は家庭」などと性別によって役割を固定する考え方について

	H14	H21	H26
1.同感する	8.5	10.8	10.9
2.同感できない	50.6	47.0	46.8
3.どちらともいえない	40.4	39.9	41.3
4.わからない	0.4	2.4	0.9

「男らしく」「女らしく」という考え方が「必要である」と答えている人は約60%いました。

その一方で「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担について「共感する」と答えた割合は10%程度にとどまっています。

### 問3 現代の生活や社会は男女が平等であると思われるか。

	H14	H21	H26
1.平等になっていない	74.4	66.0	71.4
2.平等になっている	16.0	16.8	14.9
3.わからない	9.7	17.4	13.7

### 平成25年度地域社会アンケート

問3:暮らしの現状について

(5)あなたは、普段の生活の中で、男女が平等であると感じますか

	H21	H22	H23	H24	H25
1.はい	44.1	42.5	48.8	41.9	43.4
2.いいえ	53.6	53.6	47.1	54.4	52.2
3.無回答	2.3	3.9	4.1	3.7	4.4

「現代の生活や社会は男女が平等であると思われるか」という問いに対して、「平等になっている」と答えた人の割合は14.9%と低い数値になっていますが、平成25年度地域社会アンケート「普段の生活の中で、男女が平等であると感じるか」という問いに対して、「はい」と答えた人の割合は約45%と開きがあります。

**問6 家事、育児、介護などへの男性の参加を進めるために必要なことは何だとお考えになりますか**

	H14	H21	H26
1.職場における、育児・介護休暇などを取りやすくする仕組み	31.5	31.3	29.8
2.男性対象の講習会の開催	17.7	19.2	17.7
3.男性の家事参加を促す「家庭参加の日」などの県民運動	11.5	11.4	13.7
4.家庭における女性からの働き掛け	12.7	11.7	12.4
5.学校における男女平等教育	12.1	12.5	12.3
6.学校行事への男性の参加を促すしくみづくり	12.8	10.4	11.5
7.その他	2.3	3.4	2.7

1位「職場における、育児・介護休暇などを取りやすくする仕組み」  
 2位「男性対象の講習会の開催」  
 3位「男性の家事参加を促す「家庭参加の日」などの県民運動」  
 となりました。

## 問9 女性が生涯にわたり仕事を続けるために、どのような支援や改善が必要とお考えですか

	H14	H21	H26
1.子育て後などの再就職・再雇用制度	18.3	18.7	17.7
2.多様な雇用形態 (在宅勤務、時間短縮労働)	12.6	12.8	15.7
3.家族の協力	16.7	15.5	13.1
4.保育・介護・家事の支援サービス	9.9	11.4	12.7
5.女性が働くことに対する社会全般の慣習	10.3	9.9	8.4
6.労働条件の改善 (昇進・昇格など待遇格差解消等)	6.9	7.4	8.4
7.企業などにおける育児・介護休暇制度の充実	14.4	15.4	8.1
8.就職情報の提供・充実	5.8	4.3	7.0
9.再就職のための技術研修などの充実	5.1	4.2	6.2
10.その他	0.2	0.5	0.4

1位「子育て後などの再就職・再雇用制度」

2位「多様な雇用形態」

3位「家族の協力」

となっています。

前回3位だった「企業などにおける育児・休暇制度の充実」がその割合を大きく減らしています。

**問17 女性が地域(社会)活動にもっと参加できるようにするためににはどのようなことが必要と考えますか**

	H14	H21	H26
1.夫などの家族の協力と理解	30.7	29.9	29.5
2.女性自身が社会活動にもっと 関心と意欲を持つこと	23.4	18.4	20.1
3.女性の自由になる時間を増やすこと	14.6	16.7	19.0
4.託児所やホームヘルパーの制度を整える	10.8	11.1	10.7
5.社会活動のための施設や設備を整えること	8.5	9.0	8.6
6.行政が指導や広報などの援助を行うこと	6.2	4.5	6.1
7.隣近所の理解	2.7	2.1	2.9
8.わからない	2.5	6.1	5.0
9.その他	0.7	2.3	1.5

1位「夫などの家族の協力と理解」  
 2位「女性自身が社会活動にもっと関心と意欲  
 を持つこと」  
 3位「女性の自由になる時間を増やすこと」  
 となりました。

## 問20 あなたはDVに関する次のことについて知っていますか。

H26	
1.配偶者や恋人など親密な関係から受ける暴力を、いわゆる「DV(ドメスティックバイオレンス)」と呼ぶこと	88.2%
3.DV]被害者を支援するために、法律(「配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律」)が制定されていること	63.4%
4.公的機関において、相談や被害者の一時保護を行っていること	64.4%
5.DVを受けている人を発見した人は、公的機関などの相談窓口または警察に通報するよう努めなければならないこと	39.9%
6.その他	2.7%
7.知らない	2.4%

※H26 から追加した項目

「配偶者や恋人など親密な関係から受ける暴力をいわゆるDVと呼ぶこと」の回答率が約90%であり、DVについての認識は高いといえます。しかし、20代から50代までの各世代の回答率が90%以上だったのに対して、60代以上の回答率は約75%と差が出ました。

**問23 男女共同参画社会(家庭、職場、地域社会など、あらゆる分野に共同で平等に参画する社会)の実現のために、行政は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか**

	H14	H26
1.保育・介護・家事「サービスや関連施設の充実」	19.4	18.1
2.育児・介護休暇制度の「導入徹底」	13.7	13.9
3.職業訓練、職業情報の提供、女性の「職業支援」	10.2	9.9
4.女性のための「相談業務の拡充」	4.0	8.7
5.学校教育や社会教育・生涯学習の場での男女平等や相互理解についての学習の充実	11.2	8.7
6.企業や事業主に対する「啓発活動」	8.2	7.9
7.男性の男女共同参画社会に対する「意識啓発」	8.6	6.5
8.資格取得のための「各種職能講座の実施」	6.7	6.2
9.暴力など被害から逃れるための駆け込み寺	3.1	5.7
10.各種団体の女性リーダーの養成	2.8	4.2
11.女性の男女共同参画社会に対する「意識啓発」	4.4	4.1
12.性的被害等を受けた女性へのカウンセリング	1.2	3.5
13.政策決定の場への「女性の登用促進」	4.6	2.8
14.女性問題の「学習・研修の充実」	1.6	1.5
15.その他	0.4	1.0

※H21調査時には調査項目より除外

1位「保育・介護・家事サービスや関連施設の充実」  
 2位「育児・介護休暇制度の導入徹底」  
 3位「職業訓練、職業情報の提供、女性の「職業支援」」  
 となりました。